

## 11. 研究紀要

昨年度まで教育学部附属教育実践総合センターが行ってきた研究紀要「茨城大学教育実践研究」の編集・発行業務を引き継ぎ、今年度、「茨城大学教育実践研究 第36号」を発行した。28編の論文が投稿され、11月末日にWeb上に掲載された。投稿された論文のリストは以下の通りである。

茨城大学教育実践研究 第36号 原稿執筆者

No.	タイトル	執筆者
1	新学習指導要領及び高大接続の視点から見た教員養成	柴原宏一
2	算数科における「数直線等の図」の道具性に関する研究— 指導系統と機能の考察から—	白井英成・根本博
3	幼児期における科学的探究心を育成する指導法— 観察のサイエンスプロセス・スキルに着目して—	宮本直樹
4	小学校理科における仮説設定能力を育成する指導法— 探究的な問いに対する仮説の洗練化と実験結果を基にした仮説の妥当性の検討を導入して—	筒井雅人・宮本直樹
5	生活科における児童の観察についての一考察— 小学校第2学年での栽培活動を通して—	小松原 崇・宮本直樹
6	美術教育におけるカリキュラム論の提案— ユニット型連携構築方法による計画作成 —	向野康江
7	岡本太郎(1911～1996)による児童画にあらわれる太陽— 著書『今日の芸術』(1954)「赤丸チョンチョン、子どもの『八の字』」をめぐって—	金山愛奈・向野康江
8	大正期の子どもが描く挿絵についての考察— 『骨肉』所収の向野啓助(1905～1937)の作品を対象にして	山田秀平・向野康江
9	情報倫理や情報安全に関する教育に資するネットワーク情報モニタシステムの開発	工藤雄司・豊田和恭
10	小学校生活科の教育課程改善に向けた一考察— 社会情動的スキルの発達を促す生活科の指導—	大西 有・久保田みどり
11	学校家庭クラブ活動による小中学生を対象とした消費者トラブル予防出前講座の効果	村上睦美・野中美津枝
12	大学生の子育て関与意識と家庭科教育の課題	佐藤裕紀子
13	小学校英語における読み書き導入および中学校英語科との連結	猪井新一
14	どのような気づきが、英語教師を成長させるのか— 自律的な教師への道 —	平野紀英子・齋藤英敏

15	特別の支援を必要とする子どもの教育に関する政策動向 —日本語を中心に—	荒川 智
16	身体活動に制限のある子どもに対する教科学習の方法	新井英靖・三浦佳苗
17	肢体不自由特別支援学校における音楽の活用に関する考察 — 重度・重複障害児を担当する教師に対するインタビュー調査から —	高橋 結・新井英靖
18	水頭症事例における漢字書字習得に関する実践研究	豊田崇仁・細川美由紀
19	特別支援学校における人間関係形成を目的としたグループワークの実践	稲葉 愛・細川美由紀・正保春彦
20	「養護概説」と「健康相談活動の理論及び方法」のシラバス調査 — 関連科目における養護教諭の複数配置に関する教育実態 —	斉藤ふくみ・鈴木 薫・山崎隆恵
21	保健室での健康相談ツール紹介—コラージュ体験からの気づき—	木嶋葉子・斉藤ふくみ
22	放課後児童支援員における子どもの育成支援に関する研究	武藤七海・青柳直子
23	小学校との接続・連携を強化する幼稚園のカリキュラムマネジメント	佐藤 環・菱田隆昭
24	画像処理技術を利用したシュミレーションによる色覚異常の疑似体験と色覚に異常がある子どもの理解への応用	佐々木忠之
25	紙芝居の画像分析に関する研究 — ショット分析の応用の試み (2) —	林 延哉
26	知的障害児の運動技能習得に関する研究 — 特別支援学校中学部におけるサッカー授業実践から—	松坂 晃
27	外国人児童生徒及び保護者への教育支援に関する研究 — 2つの事例への実践をもとに—	藤井とし子・三輪壽二
28	知的障害児に対するドラマ活動の実践 —コミュニケーション能力と社会性の向上を目指して—	鳩山裕子・猪狩大樹・廣木 聡・正保春彦